

整理No. 2015-67		労働災害状況調査表			
災害発生日時		2015年 12月 2日(月) 16時 05分 天候(曇り) 温度(-℃)湿度(-%)			
災害区分		不休災害 休業災害(休業:△日)			
被災者	部門	調色委託業者		雇用形態(正社員)、派遣、契約、その他( )	
	年齢	60歳	性別:(男) 女	勤続年数 35年	経験年数 35年
	傷病名	左手人差し指 裂傷			
	傷病部位	左手人差し指			
災害発生状況	スクレーパーの刃を交換し、固定ネジを緩めていたところ、刃がむき出しになっている状況になか、ネジが締めづらかったため、軍手を外し再度ネジを締めていたところ、手元が滑り左手人差し指を刃で切創した。		状況概略(写真orイラスト)		
					
	災害の型 <sup>※1)</sup>	6. 切れ、こすれ	作業の形態:定常(非定常、その他( ))		
起因物: カッターの刃		特記事項			
原因分類	1.人的要因(man)				
	保護具の選択不備により、結果的に素手で作業した。				
	2.物に関する要因(machine)				
	本来の用途に使用するものではないものを使用した。(自前工具で床のハツリ作業を行った)				
3.環境要因(media)					
過去に何度も使用していたという過信があった。(危険予知の意識低下)					
4.管理的要因(management)					
ハツリ作業に関する作業標準が定められていなかった。					
対策	①作業に応じた保護具着用リストの作成。				
	②自前工具の禁止。安全性の高い工具への切り替え及び各工具類使用状況の見える化。				
	③ヒヤリハット、リスクアセスメント、KYT活動の見直しによる安全意識向上。				
	④ハツリ作業に関する作業標準の作成及び作業員への教育。				
対策分類 <sup>※2)</sup> :1-3リスクアセスメント、1-6教育、2-4危険認識					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)